

2019年 11月 26日

未承認新規医薬品・医療機器評価委員会で承認された治療法

当院の未承認新規医薬品・医療機器評価委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

実施内容	手術時の ICG（インドシアニンググリーン）を用いた医療の提供について
実施責任者	三重大学医学部附属病院 病院長 伊佐地 秀司
対象者	術前・術中に検査ならびに治療目的で ICG を使用する必要があると判断した患者
承認日	2019年 11月 26日
対象期間	承認後から永続的に使用
概要	<p>【目的・意義】</p> <p>ICG は、術中や術前に投与することで目的の腫瘍、血管、胆管、リンパ管などを蛍光発色して同定・評価を行うことが可能となります。一部の臓器等においては保険診療が認められていますが、他の領域でもすでに多数の報告があり、標準的な検査法となっています。当院では、保険適応となっている代替医薬品がない場合に以下の領域における周術期の ICG 適応外使用を認めています。</p> <ul style="list-style-type: none">・肝胆膵・移植外科領域・形成外科領域・小児外科領域 <p>【想定される不利益と対策】</p> <p>本薬剤における有害事象の報告では、ショック症状 0.02%、悪心・嘔気 0.08%、血管痛 0.04%、発熱・熱感 0.02%といった薬剤に対するアレルギー症状があります。それらの症状を認めた場合には、必要時は薬剤の中止や対症療法で対応します。本剤治療による副作用などの健康被害が生じた場合は、医薬品副作用被害救済制度の適応とはなりません。保険診療範囲内で適切な診療と治療を行います。</p>
お問い合わせ先	三重大学医学部附属病院 総務課 総務係 代表 059-232-1111（内線 6293）

以上